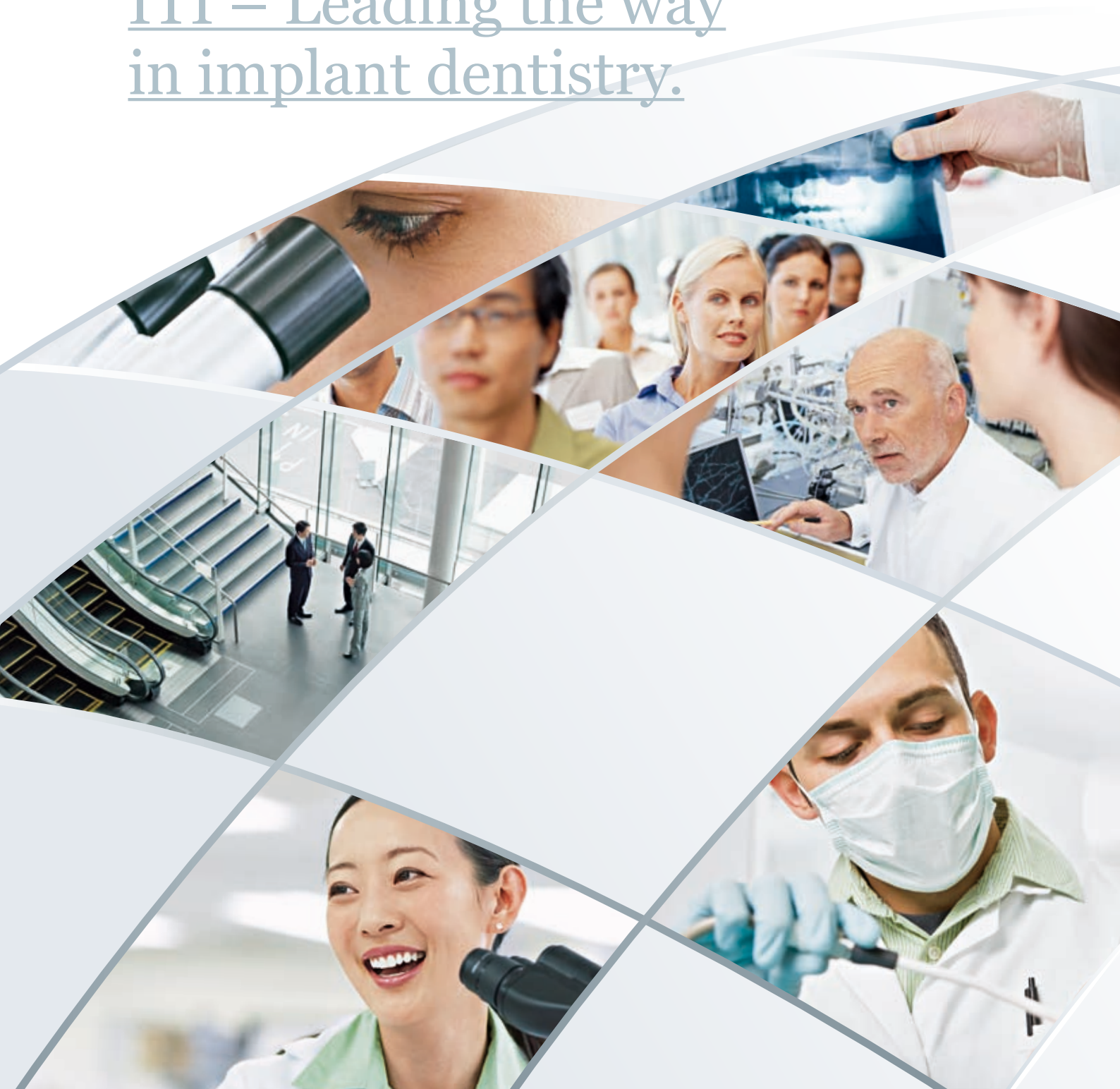


ITI – Leading the way  
in implant dentistry.



“An organization dedicated to  
advancing knowledge and sharing  
expertise.”

Professor Dr. Daniel Buser  
ITI プレジデント

Dr. Stephen Chen  
ITI 教育委員会  
チェアマン

Professor Dr. Thomas Taylor  
ITI 研究委員会  
チェアマン

Professor Dr. Gerhard Wahl  
ITI セクション & メンバーシップ委員会  
チェアマン

Professor Dr. Hans-Peter Weber  
ITI ユニバーシティ・プログラム委員会  
チェアマン



# Knowledge is key.



ITI ボードメンバー (理事) :

Anthony Dickinson (オーストラリア) ; Gerhard Wahl (ドイツ) ;  
Stephen Chen (オーストラリア) ; Dieter Weingart (ドイツ) ;  
Daniel Buser (スイス) ; Hans-Peter Weber (米国) ;  
Gilbert Achermann (スイス) ; Hideaki Katsuyama (日本) ;  
Thomas Taylor (米国) ; Pedro Bullón (スペイン) ;  
Beat Spalinger (スイス)

\*2011年1月現在

独立した学術組織であるInternational Team for Implantology (ITI) は、インプラント歯学分野においてエビデンスに基づき、知識の向上に真摯に取り組んでいます。

ITIは、インプラント歯学ならびに関連組織再生の専門家による国際的な非営利学術組織です。志を同じくする専門家たちが、ITIのイベントやネットワークを通じて意見交換をし、最適な治療を考え、患者様の利益と健康の向上を目指しています。

そしてそのビジョンに基づき、年々増加するITIメンバーの方々に私たちの治療・研究理念と教育的な観点からの情報をお届けしています。

また、メンバー数の増加に伴い、今後もクオリティの向上に努め、メンバーの皆様に対してより一層のベネフィットを提供していきます。

ITIは、設立以来インプラント治療の開発と関連する手技や術式の裏づけとなる科学的知識の集積に多大な貢献をしてきました。そして現在、インプラント歯学によるソリューションは、治療プロトコールとして一般的に受け入れられるようになりました。信頼性の高いアウトカムの更なる向上のために、ITIでは教育、治療方法の標準化、リスク評価、保証などを重視した活動への取り組みに重点を置いています。

Professor Dr. Daniel Buser  
ITI プレジデント

## 創立期

1980年、明確なビジョンを持った様々な分野の12人の専門家からなるグループにより、ITIは非営利学術組織として設立されました。初期の活動においては、インプラントのデザインとその表面性状の研究開発に大きく貢献しました。

12人の設立メンバーのうち、André SchroederとFritz Straumannの2人が中心となって、組織の発展と、科学と産業の両立に努めてきました。このパートナーシップは、長年にわたって双方の発展に寄与しています。

設立後の10年間、ITIは主にスイスとドイツ南部を拠点とする50人のメンバーから成る比較的小規模な組織でした。しかし、1988年に初めてITIワールドシンポジウムを開催したことで、当時、高まりつつあった組織の国際的な知名度や影響力は確かなものとなり、以降も飛躍的に拡大しています。

# Structured to enable true global networking.

ITIでは、ここ数年のメンバー数の増加に伴う組織の拡大に合わせ、その関心とニーズを反映した体制作りにも努めています。

シヨンは、その国の文化と社会の発展に貢献しつつ、ITI委員会を補完する役割を担っています。

“A representative cross-section of the industrialized world’s cultures, economies and experience.”

組織運営のために、理事会と4つの委員会（教育、研究、ユニバーシティ・プログラム、セクション&メンバーシップ）を設置し、年に数回、会合を行っています。世界中に展開される各国のセク

国内コンGRESS (national congress)、スタディ・クラブ (study club)、スピーカー養成コース (Speaker development course)、教育ワークショップ (educational workshop) があります。

## 各国のセクション

ITIは、各国のセクションを通じて国・地域レベルで効率的に情報を伝達しています。各国ではその情報に基づき定期的にイベントが開催されています。この狙いは、メンバー一人ひとりに情報を伝達すると同時に、グローバルレベルまで確実にフィードバックを行うことにあります。各国のセクションの主要な活動は、インプラント歯学分野の教育を継続して推進していくことであり、その代表的な活動には、

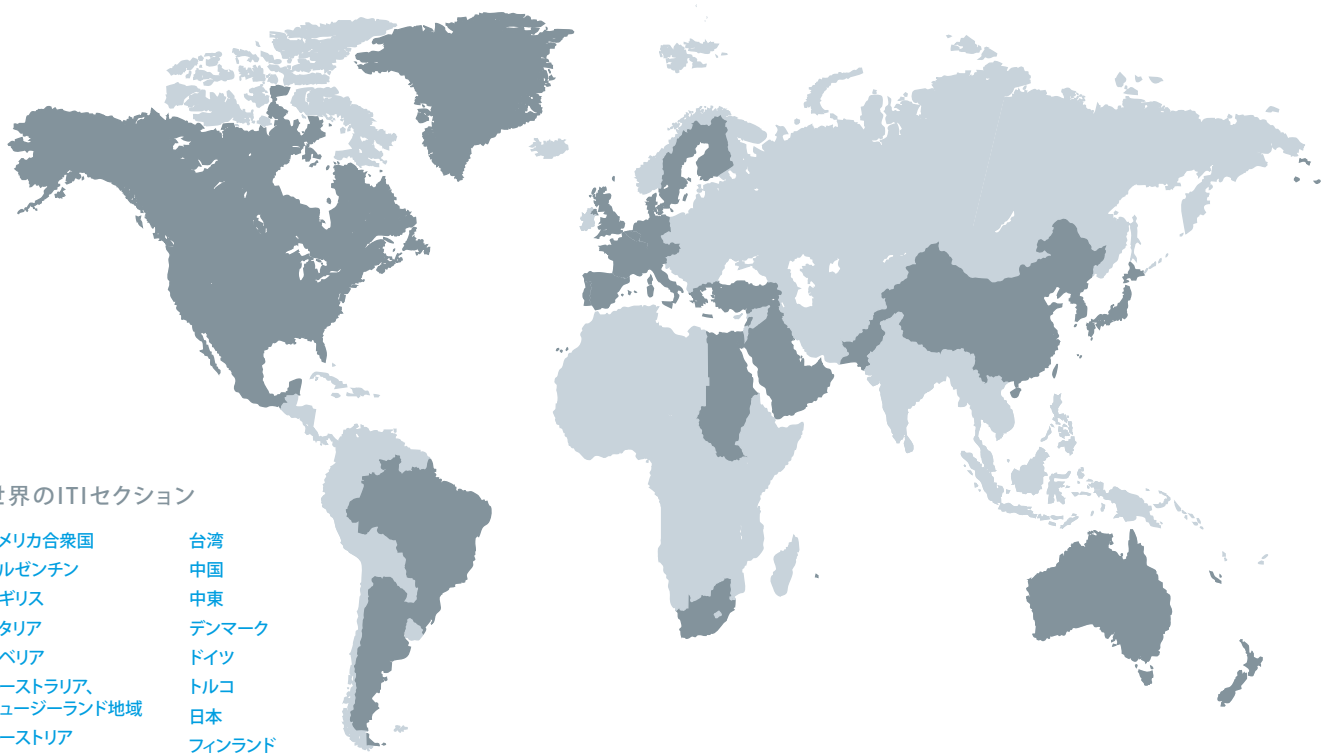
## メンバーシップ

ITIは、メンバーをはじめフェローの労力や技術の提供によってその高い評価を得てきました。特にフェローは、委員会やプロジェクトグループの一員となって組織的、機能的な役割を担い、これらの活動を支えています。理念の共有と普及を目的とする専門家の集まりであるITIは、様々なプログラムやアクティビティを通じて、その専門性やネットワークをメンバーとフェローに提供します。

## フェロー

フェローになるには推薦が必須となり、そこには責務と責任が伴います。ITIの中核を成すフェローは、世界30ヶ国以上の歯科学界・大学を代表する歯科医師です。労力や技術を惜しまず、強い責任感と理念を抱くフェローがITIの活動を支えています。

# “United by a sense of responsibility and idealism.”



## 世界のITIセクション

アメリカ合衆国	台湾
アルゼンチン	中国
イギリス	中東
イタリア	デンマーク
イベリア	ドイツ
オーストラリア、 ニュージーランド地域	トルコ
オーストリア	日本
オランダ	フィンランド
カナダ	ブラジル
韓国	フランス
ギリシャ	ベルギー
スイス	南アフリカ
スウェーデン	メキシコ

## メンバー

歯科医師、医師、科学博士、歯科技工士・歯科衛生士など、ITIの専門基準を満たしていれば誰でもメンバーになることができ、様々なベネフィットを受けられます。

登録をご希望の方は、こちらからアクセスしてください。

URL: [www.iti.org](http://www.iti.org)

Email: [info@iti-japan.org](mailto:info@iti-japan.org)

## ベネフィット

- ITI Treatment Guideの最新版が毎年送付されます。(日本語版あり)
- Forum Implantologicumが定期的を送付されます。(2011年日本語版刊行予定)
- 世界中で開催されているITI主催のイベントにディスカウント価格にてご参加いただけます。
- 日本国内で開催されているITI Study Clubに参加費無料でご参加いただけます。
- ITInet (メンバー専用ウェブサイト)にて、日本国内はもとより世界中から寄せられる最新情報収集、文献や症例の検索、ならびに日本語でのメンバー間ソーシャルネットワークを作ることができます。
- インプラント歯学の最新情報や世界のITI関連学会のサマリーをご覧いただけます。

# Promoting research.

ITI Foundationは、その運営機関である研究委員会とともに、中立的な資金提供団体として1988年に設立され、インプラント歯学ならびに関連組織再生の研究者 (ITIへの所属にかかわらず)への財政支援を行っています。

ITIは、これまでに世界各国の80を超える学術団体及び研究機関のプロジェクトに、総額3,000万米ドル (2009年9月時点)の助成金を提供してきました。インプラント歯学分野で助成金の提供を行う国際的民間組織としては、最大級の規模を誇っています。

“Medical research needs independence, open space and opportunities for discussion.”  
Professor Dr. André Schroeder

各プロジェクトに対する助成金は、仮説、経験・研究環境、方法論、予算などの観点からその妥当性に基づき支給されます。ITIは、年間予算のうち、その大幅な割合を研究のための資金援助に充当しています。



## 研究助成金

研究資金の申請者に対する助成金の提供には2種類の支援が用意されています。そのうち、50,000スイスフランを上限とする小規模交付申請Small Grant Application (SGA)は、インプラント歯学における専門家としての評価を確立することを目指す若手臨床医を対象としています。すでに高い評価を得ている研究者や研究グループは、RCL (臨床またはラボにおける研究課題)を提出し、承認を受けた場合は200,000スイスフランを上限とする助成金が支給されます。

# Foundations for a sound education.

## “Building on existing momentum to develop a rounded educational offering.”

ITIは、教育コアグループ (Education Core Group) を通じ、インプラント歯学分野で使用する教育手法と教材の開発・向上に戦略的に取り組んでいます。また、出版、イベント、インターネット、ソフトウェアなど様々なメディアを介し、ITIメンバー向けの教育機会を拡大しています。

定例のITIワールドシンポジウムは、ITIにとって最も重要にして最大のイベントであり、インプラント界の精鋭が集まります。各国のセクションは数々の国内コンGRESS (学会) を開催し、シンポジウムを補完する役割を果たしています。他にも、国際的な活動として、定例のコンセンサス会議 (Consensus Conference) があります。この会議では、臨床現場における治療のガイドラインについて、分野を主導する専門家が協議し、定義の明確化を行います。そこで得られた成果はコンセンサス・ペーパー (Consensus Paper) にまとめられ、学術専門誌に公表されます。

また、歯科医師にわかりやすい参考資料を提供するために、ITIは『ITIトリートメントガイド』をシリーズで発行し、好評を博しています。各巻とも、具体例を取り上げ、詳細な図解や写真をまじえて、治療に対する段階をふんだ解説を掲載しています。

ITIの最大の強みとして、豊富な数のスピーカー (Speaker) の存在が挙げられます。スピーカーは、ITIならびにITIの理念の代弁者として、世界中でプレゼンテーションを行います。スピーカーはプレゼンテーション技術を磨き、その完成度を上げるため、ワークショップや開発コースに参加するなどの様々なサポートを受けることができます。



### ITI ネット

インターネットは、現代社会では貴重な情報源となっています。ITIでは、組織専用のオンライン・ネットワークを構築し、情報の伝達に利用しています。情報の提供や交換のためにプラットフォームを設け、また、ITIスピーカーがプレゼンテーションの準備に活用できるように、図解や文書の参考資料を豊富に掲載しています。

# Making education accessible.

## ユニバーシティ・プログラム

ITIは、長年にわたり世界中の様々な大学をはじめとする学術機関と確固たる関係を築いてきました。ビジョン2017 (Vision 2017)の一環として、ITIはこれらの学術機関とのネットワークを拡充し、ITIの確かな教育理念をさらに発展・推進させています。

## “Supporting education in implant dentistry according to evidence-based principles.”

エビデンスに基づいたインプラント歯学の教育の普及を目的として、プログラム委員会を設置しました。ITIは、世界中の厳選されたインプラント分野の教育や研究を行うセンター・オブ・エクセレンス (中核的研究拠点) も支援しています。これらの機関と協調してITIの哲学に沿ったプログラムを開発することで、ITIはあらゆるレベルの医学教育に継続して貢献しています。

## スカラシップ・プログラム

ITIのスカラシップ (奨学金) ・プログラムは1998年に開始され、最初の10年で、100名を超える世界中の研修歯科医師に奨学金が支給されました。奨学生たちは、研修終了後、自国に戻り学んだ知識の普及に努め、更に国際的な経験を積み、視野を広げ続けています。ユニバーシティ・プログラム委員会のもとで運営されるスカラシップ委員会は、若手医師の審査・選抜を行い、世界中に多数あるITIのスカラシップ・センターでの研修を支援します。奨学生はITIメンターの指導のもと、1年間の研修を受けます。各奨学生には生活費として40,000スイスフランが、スカラシップ・センターには10,000スイスフランが支給され、毎年20人から25人が選抜されています。ITIスカラシップ・プログラムで培われた豊かな経験とネットワークは、奨学生のその後のキャリアに生かされています。

## ITIのセンター・オブ・エクセレンス

- 経験を積んだITIフェローがリード
- 質の高いCEコースの確立
- 経験豊かな教職員が研究に従事
- CE履修単位の取得が可能
- 講堂や治療室、手術室を始めとする最先端技術を駆使した設備による、ライブ中継や実践的なハンズオンなどのワークショップ



# Sections & Membership.

## “Ensuring a transparently formulated framework of benefits, tasks and responsibilities.”

ここ数年のメンバー数の増加に伴う組織の拡大に合わせ、ITIはセクション&メンバーシップコアグループを設置して、これらのニーズに対応しています。

各セクションがそれぞれのニーズにあった形で効率的かつ順調に活動できるよう、コアグループはガイドラインを制定しサポートを提供します。また、成功事例などの情報交換が円滑に行えるよう、各セクションの代表(Chairman)からなるセクション&メンバーシップ委員会を構成し、セクションの活動を促進しています。

フェロー、メンバー、セクションのそれぞれが、ベネフィット、役割、責任を明確に理解し、ITIの一員として支援を受けられるように、セクション&メンバーシップコアグループは日々活動しています。これにより、新メンバーは、ITIの運営方針を容易に理解し、また、組織に参加するか否かの判断もしやすくなります。

# Why be part of the ITI Network?

インプラント歯学分野は、新しい素材・手技・技術の導入によって、ここ数年で急激に拡大しています。矛盾する情報も多いため、自らが置かれた状況でどのアプローチが最良であるかを判断するのは困難です。

さらに、異なった専門分野で様々な経験を持つ専門家と直接交流する場を設け、豊富で価値のあるネットワークづくりをサポートします。

## “A network of professionals, a network of friends.”

ITIはイベントを通じて、メンバーに対し常に最新の情報と、分野をリードする専門家の議論に参加する機会を提供します。また、ITIの出版物は、よりの確なリスク評価を行う土台となる正しい基礎や、治療を行う際に必要なスキルを紹介します。

ITIは、インプラント歯学分野における国際的な非営利学術組織です。組織の国際的なイベントを通じて、他に例をみないネットワークづくりの機会を提供します。

# ITI Center

スイスのバーゼルに拠点を置くITIセンターは、ITIにおける中核を担っています。ITIセンターではメンバーと委員会に対し、組織の円滑な運営に必要な支援を行います。

お問い合わせは、ITIのウェブサイト[www.iti.org](http://www.iti.org)をご覧になるか、日本語でのサポートをご希望の場合はITI Section Japan事務局までご連絡下さい。

ITI International Team for Implantology

ITI Center

Peter Merian-Weg 10

CH-4052 Basel

Switzerland

Tel.: +41 (0)61 270 83 83

Fax: +41 (0)61 270 83 84

[iticenter@iticenter.ch](mailto:iticenter@iticenter.ch)

ITI Section Japan事務局

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-7-12

サピアタワー16階

Tel.: 0120-338-755

Fax: 0120-605-048

[info@iti-japan.org](mailto:info@iti-japan.org)

“... to promote and disseminate knowledge on all aspects of implant dentistry and related tissue regeneration through research, development and education to the benefit of the patient.”

「研究・開発・教育を通じ、  
インプラント歯学と関連組織再生の  
あらゆる知識の普及と振興を目指します。  
患者様の利益のために…」